

# 赤ちゃんの家さくらんぼ 平成 23 年度事業報告

## 1、基本方針

### <こんな乳児院をめざします>

子どもたちに「もうひとつのあったかいお家」となる乳児院づくりをすすめます。

- ・ 子どもの処遇内容については、クラス会を中心として生活環境、養育内容の課題を検討した。小グループ活動を保障できるように環境面では、室内改修工事をして新たにバナナ部屋を作った。また養育面では、小グループを基本にして活動計画し、子どもたちが安心して楽しい生活を送ることができるように取り組んだ。
  - ・ お家のような経験ができるように、食事の時に子どもたちに見えるようにご飯や汁をつけたり、調理員が豆や団子を茹でるのを見る取組みをした。また、行事計画書に基づき、担当保育士と外出や外泊し、お買い物や公園遊び、電車に乗って担当家庭に出かけるなど楽しい経験をした。
- 保護者とともに子どもを育てます。
- ・ 夏祭りやクリスマス会への参加を呼びかけて来院してもらい、子どもたちの成長の姿を見てもらった。
  - ・ 毎月『さくらんぼ便り』に、子どもたちの元気な姿の写真と、さくらんぼで過ごす生活の様子を書き郵送した。保護者が「便り」を保管できそうもない場合は、カラーコピーで配布し、入所児の将来のために院で保管することとした。
  - ・ 引き取り前に家庭訪問し、生活環境を確認するとともに、子育て生活の不安や悩みに対するアドバイスをしたり、また今後の支援体制を確かめ、子どもたちを共に育てていける環境づくりに心がけた。

職員が生きいきと働き続けられる乳児院をめざします。

- ・ H22 年度に働き続けるためのプロジェクトチームを立ち上げ、育児休暇復帰職員の短時間勤務を導入し体制づくりをした。H23 年度に通常勤務に就いたが、遠距離通勤と保育園通園と家族の問題等があり、個人レベルの問題と社会的レベルの問題等多くの困難な課題があることを認識した。

地域に根ざした子育て支援センターをめざします。

- ・ 魚屋町のぎやらりい木屋さんの一角にて子育て相談室を月 2 回開催できた。犬山市の行う「赤ちゃんの駅」の一拠点として立ち寄った親子の受入れ準備をした。
- ・ 地域のイベント「おもしろそうだがや」に参加し、「親子であそぶ」コーナーを提供した。
- ・ 犬山市こども未来園の開催研修「離乳食の食べさせ方講習会」に栄養士が講師として招かれ、講話した。また、見学も受け入れ実際の離乳食の様子を見てもらった。

## 2、専門分野別の組織作りと役割を明確化し稼働させる

保育 さくらんぼの虐待防止マニュアル作成の為、学習会を行った。

防災マニュアルを検討作成中。

看護 投薬の間違えを防ぐためにヒヤリハット・事故報告書を作成して薬に対する意識を高め、事故防止につなげることができた。

食育 食育計画を基に、保育現場と連携して、誕生会や季節の行事に取り組んだ。野菜を作

って収穫し、洗った後食べたり、調理してもらって食べたりして子どもたちが楽しめる取り組みをした。

事務 愛知県子育て支援対策基金事業費補助金、愛知県共同募金会配分金により、施設の改修等を実施することができた。居室内の各部屋の収納を全体的に見直した。

### 3、各係りの仕事を明確にし、遂行する。

<写真> 写真ノートを作り、現像のために持ち出した状況がわかり、個人情報の取り扱いに注意した。

<被服> 季節や子どもの体にあった衣類の出し入れを行うことができた。

<日用品・ミルク> 在庫管理の棚を設置し、発注・納品がスムーズにできた。

<オムツ> 計画的な発注、在庫管理に心がけたが十分にできなかった。

<製作> 季節・行事に合わせた製作ができた。写真つきの壁面を作り、行事の楽しい取り組み内容がみんなに伝わった。

<行事> 誕生会の係りは年間計画に添い、行事計画書を提出して計画的にできた。また、クリスマス会・豆まきなどの年間行事は全体で取り組み、子どもたちと一緒に気持ちを盛り上げ、楽しむことができた。

キルシェハイムとの合同夏祭りは、実行委員を中心に当日の役割分担をし、積極的に取り組めた。

<文集(絆)> 愛知県下の他施設とともに、文集「朋」作りに積極的に取り組んだ。

### 4、各種会議の充実を図り、決定事項の徹底化

会議が終わり次第、議事録を作成して全員(パート職員を含む)に配布し、養育内容の理解に努めた。

### 5、家庭支援専門相談員の配置

児と親・里親とのより良い関係のための「支援プログラム」に具体的取組内容を追記した。進行状況を面談にて確認し、次の段階へと進めていくようにした。

児相とは常に連絡を取り、引取りや措置変更に際しては、必要に応じて訪問し地域資源の活用等、支援が途切れないように努めた。

### 6、職員の資質向上および力量を高める

新人研修

基本理念、方針を深める学習

各種研修に積極的に参加させる

県施設長会主催の研修に積極的に参加した。院内研修では、桜花学園の田中義和先生を講師に招き、乳児に子どもたちが「描く楽しさ」について全員で学ぶことができた。

自己評価チェックを取り入れる

自己評価チェックを10月に実施した。フィードバックは全職員に行うことができた。

## 7、設備

- ・検食用冷凍庫、食品庫と洗濯室の空調分離、ぶどう部屋空調追加、遊戯室天窓ブラインドカーテン、炊出し釜、書庫および収納用棚、イス・机収納などを購入・設置した。
- ・園庭日除け、お風呂改修、園庭人工芝取替え（ゴムチップ施工）、ぶどう部屋のパーティション設置、などの工事を実施した。

## 8、資金の計画

通常経費は、措置費収入及び補助金で賄えた。運営費補助金（福祉ポイント加算）は6.5ポイントとなった。

短期支援事業は犬山市、一宮市と契約を継続した。

育児支援地域貢献活動      出張子育て相談会（毎月第2・4金曜日 10：30～12：30）

里親支援      里親引取を前提に養育相談に取り組んだ。

訪問活動      外泊時・引き取り前・引取後に訪問することができた。